

単位面積当たりの吸収量 説明資料

I. 算定式

$$\begin{aligned} & W_a \times (1 - P_w) \times P_c \times R_b \times 44/12 \times (Pr1 + Pr2) \times C_e \\ &= 62.63 \times (1 - 0.80) \times 0.32 \times 1.1 \times 44/12 \times (0.0472 + 0.0279) \times 1.50 \\ &= 1.8212 \end{aligned}$$

- ☐ 単位面積当たりの湿重量 W_a
- ☐ 含水比 P_w
- ☐ 炭素含有比 P_c
- ☐ P/B 比 R_b
- ☐ 残存係数① $Pr1$
- ☐ 残存係数② $Pr2$
- ☐ 生態系全体への変換係数 C_e

II. 算定根拠

- ☐ 単位面積当たりの湿重量 W_a 62.63t/ha
25cm×25cm の方形枠を用いて任意の 2 地点で坪刈りを行い、平均値を湿重量とした。
 - 地点 1：湿重量(gWW)284.48 単位面積当たりの湿重量(t/ha)45.5168
 - 地点 2：湿重量(gWW)498.47 単位面積当たりの湿重量(t/ha)79.7552
 - 平均値：湿重量(gWW)391.48 単位面積当たりの湿重量(t/ha)62.636



青方（坪刈り）-地点 1



青方（坪刈り）-地点 2

□含水比 P_w 0.80

(単位面積あたり湿重量-単位面積あたり乾重量) / 単位面積あたり湿重量
 $= (62.63-12)/62.63=0.80$

単位面積あたり海藻・海草生産量 1.4 ± 0.2 (kg 乾重/ m^2 /年) (ガラモ場の数値) の下方値 1.2 (kg 乾重/ m^2 /年) $= 12$ (t 乾重/ha/年) を採用

参照：第3版 磯焼け対策ガイドライン (p10 コラム 2-2-1 表1)

□炭素含有比 P_c

32% (ガラモ場)

参照：第3版 磯焼け対策ガイドライン (p10 コラム 2-2-1 表1)

□P/B 比 R_b

1.1 (ガラモ場構成種であり県内数値として、キレバモク長崎県見崎での数値を採用)

参照：第3版 磯焼け対策ガイドライン (p11 コラム 2-2-2 表1)

□残存係数① Pr_1

0.0472 (海藻藻場)

参照：J ブルークレジット®認証申請の手引き ver.2.4 (P41 表 4-10) (浅海生態系における年間二酸化炭素吸収量の全国推計 (表 4-9 No.2))

□残存係数② Pr_2

0.0279 (ワカメ場 (ワカメ・小型褐藻類型))

参照：J ブルークレジット®認証申請の手引き ver.2.4 (P41 表 4-11) (港湾空港技術研究所 未発表資料)

□生態系全体への変換係数 C_e

1.50 (ガラモ場)

参照：J ブルークレジット®認証申請の手引き ver.2.4 (P41 表 4-12) (浅海生態系における年間二酸化炭素吸収量の全国推計 (表 4-9 No.2))